

平和新聞

発行 日本平和委員会

〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

大軍拡・大増税NO!集会成功

7月1日、早朝までの大雨も上がり、午前10時、「平和・いのち・くらしを壊し若者の未来を奪う大軍拡・大増税NO!八尾市民集会」が120名以上の参加で開催されました。

会場は八尾自衛隊駐屯地から350mしか離れていない公園です。駐屯地の近くには、こども園(保育所)や小・中学校、公営住宅があります。

集会では、清水ただし前衆議院議員が国の大軍拡政策によって日本が戦争に巻き込まれる危険性が高まったこと。戦争の準備ではなく、みんなが幸せになる道を目指そうとお話がありました。続いて田中裕子八尾市議員から、市民に知らされないままに進められようとしている八尾駐屯地の強靱化の動きについての説明と市議会での追及の報告がありました。

リレートークでは青年のNさんが「130年間、戦争の研究をしてきた学者によると、2国間の関係で、武力の準備を1国が推し進めると、80%が戦争になる。逆に、何もしなければ96%戦争に



ならない、といっていたが、敵基地攻撃や軍拡は絶対ダメ!」と発言。地元の方から「孫たち3人は園から駐屯地が見えるほど近い保育所に通っていることに不安を感じながら暮らしている」。子育て真っ最中のお母さんは「こども園が出来るとき、基地の騒音が心配だった。でも今は、命の危険を感じている。誰を守るための戦争準備なのか?自衛隊は本当に私たちを守ってくれるのか?」と不安と怒りの声が続きました。

八尾基地学習会実施

八尾平和委員会は6月24日自衛隊八百基地周辺の大地域で平和学習交流会を17人の参加で実施しました。

学習会後、メトロ八尾南駅で7・1八尾市民集会への参加を呼び掛けるミニピラを配布しました。この交流会で新聞読者が1名増えました。

都島平和の会から「八尾の戦跡やへいわ館を見たい」という要望で実現した企画でした。6月14日(水)、レストラン「カピラ」に集合し、ランチでまず交流。都島10人、八尾11人が参加し、3階の「河内へいわ館」で紹介を兼ねた事前のレクチャー(写真上)のあと、突然の大雨の中、くるま3台で自衛隊八尾駐屯地に向かいました。駐屯地の広報が出迎え、事前登録していた各参加者の名札が渡され、展示室と旧戦闘指揮所に案内されました。掩体壕も含め、ガイドは大西進氏に担当していただきました。駐屯地での見学も終わる頃、昼前に起きた岐阜の自衛隊射撃場での自衛官による銃撃事件のニュースが飛び込んできました。基地内では、雨の中、若い自衛官たちがあちこちで、黙々と草むしりをしていましたが、自衛官も含め、戦争で命を落とすことや、ましてアメリカが引き起こす戦争で互いに殺しあつたりすることのないよう、参加者の共通する気持ちが伝わってきました。

(文責 佐藤敬二)

東住吉が総会開催

大増税・大軍拡反対を決意

東住吉平和委員会は6月7日第3回総会を開催し、新体制のもと「東住吉に平和委員会があつてよかった」をコンセプトに、「大増税・大軍拡反対」の闘いを決意新たに取り組むことを決めました。

総会は一年間の活動報告、岡崎久美子新会長、浅野純一副会長、山本のり子副会長、長谷川孝子副会長、黒田安彦事務局長など新体制(新役員)、今後の活動方針(申し合わせ)などを参加者で確認しました。

さらに、記念講演では黒川伊織さん(神戸大学大学院国際文化学研究所協力研究員)から、旧ソ連時代456回も核実験が行われたカザフスタンのセミパラチンスク核実験場を訪れた報告を聞きました。

岡崎新会長からのメッセージ劇団コロロに勤務。子どもたちに平和な未来を残したいという



中村哲さん映画会成功

「百の診療所より一本の用水路」の方が大事とアフガニスタンで用水路をつくり、2019年12月凶弾に倒れた中村哲医師の生き方を描いた映画「荒野に希望の灯をともし」が6月30日と7月1日の二日間にわたり西淀川区内で計4回上映されました。

主催は「荒野に希望の灯をともし」上映実行委員会。

カンパは、4回上映後、20万円以上寄せられました! アンケートは、4回上映で100枚寄せられました。

当日もまた観たい、翌日も昨日観たけどまた観たいという方、友達に誘いたい場所がわかりにくい...などと、観られた方が拡散されていること、皆さんの心に響く映画だったと実感しました。

80歳を超えた方が、「生き方を変えんとあかん。やっぱり、心や」との声も聞きました。

みなさんの職場や地域でそういう声を集めて、「武力より、平和で暮らせる環境を」のメッセージをこれからも発信しましょう。





全国大会で大阪が大活躍

日本平和委員会は、6月24日と25日の二日間定期全国大会を開催しました。コロナ禍の中、オンライン開催となり、234個人が視聴・参加しました。

大阪からも多数が参加し、全体討論での発言や分科会の運営などで大きな役割を果たしました。

ここでは片方真佐子大阪平和委員会副会長と青年協議会の岩本悟さんの発言を紹介します。

片方副会長―

国民平和大行進

「日本平和委員会女性委員会は、多様な家族、家庭内の平等などを定めた憲法24条に改めて注目。自民党改憲草案は、国家権力が家庭のあり方まで介入する内容です。この問題について女性委員会が呼びかけたウェブ学習会は200人が視聴し、大盛況でした。」

岸田首相の少子化対策について、働く女性からは『保育所増やせ』『男性の育休消化に数値目標をつくって少子化対策なんて笑止千万』という声が上がっています。女性や青年が政治に関心を持つ活動と、平和とジェンダー平等の政策を実現する世論を広げていきたい」

岩本悟さん―

「青年分野の活動と世代継承については、仕事や子育て、学業の忙しさといった困難があります。昨今の青年委員会は子どもも一緒に参加して開かれています。こうした困難のなか、自分が活動している理由を振り返ると、原水爆禁止



ビキニデー集会への参加といった大阪平和委員会の粘り強い働きかけと、自分の意見を尊重してくれたい青年部の仲間が大切な存在だったと思います。私は面倒さや大変さと同時に楽しさもある活動を通して変わることができました。ともに励まし合いながら頑張りたいでしょう」

6月30日午前11時45分から柏原市役所前の大和川河川敷において奈良から大阪への2023年国民平和大行進の引継ぎ集会が100人で実施されました。

この集会には大阪平和委員会から上羽事務局長と吉田事務局次長の二人が「大阪平和委員会」の幟を持って参加しました。

集会後、80人が様々な団体・組織の幟をもって八尾市役所まで歩きました。

7月7日までの8日間「日本政府は核兵器禁止条約への署名・批准を」と訴えながら府内

新婦人学習会報告

6月11日午前中大阪福祉会館で新婦人中央支部が上羽事務局長を招いて「防衛費の行方・武器の話」と題する学習会を1時間に行いました。

この件に関し同中央支部の7月1日付第3468号の「おやこぼと」が特集を組んでいることが判明。

以下にそのコピーを紹介することにします。

【行事案内】

- 7/29日(日) 天王寺平和のための戦争展 10:00~ 市立社会福祉センター 上羽事務局長「安保3文書」講演 映画「テレビで会えない芸人、松本ヒロ」上映
- 【8月】
- 1日(火)「平和の広場」上羽事務局長講演 18:30~ すみれ保育園
- 4日(金) 国際会議第一セッション 14:00~ 広島JAビル10F講堂
- 6日(日) ヒロシマデー集会 13:00~ 15:30 広島県立総合体育館
- 7日(月) 開会総会 15:00~ 長崎市民会館体育館
- 8日(火) 分科会 9:30~15:30
- 9日(水) ナガサキデー集会 10:30~13:00
- 15日(火) 沖縄連帯行動 12:00~ 近鉄上本町駅前
- 26日(土) 山口儀一さんをしのぶ会 詳細別途

平和部 学習会

防衛費の行方 武器の話

大阪平和委員会・事務局 上羽治雄さん

『大軍拡ー！暮らし・平和と』憲法改悪許さない』と、毎月取り組んでいる署名行動。でも、なかなか思うようにいかない。街頭でよく聞く「日本が攻められたらどうするねん」に反論もしたい。

「防衛費の拡大で一体どんな兵器や武器を買うんやろ」「敵基地攻撃能力保有って何？」等々、知りたいという平和部員の声もあり、今回の学習会を企画しました。

興味ある話にワクワク

6月11日(日)は午前中から悪天候にもかかわらず、人数制限いっぱい37人が参加。皆さん、やはり興味がある話題なんだなあ〜と、ワクワクしながら聴きました。

50分の講演の中に、先生のお話はギョッと詰まって、テーマに沿ったわかりやすい説明でした。

軍事費と国民一人当りの負担額に怒り

●日本の軍事費2023年は世界10位で6兆2千億円
国民一人当たり、年/4万9千円、月/4千円。
5年で43兆円の軍拡に
なると、アメリカに次いで世界2位になり、何と国民一人当たり月で3万円の負担になります。ぞつとする話です。

軍拡財源法案が国会を通り、復興特別所得税の半分を軍事費に流用して期間を延

長、医療や年金のための積立金を取り崩し防衛力強化資金に充てるなど、詐欺まがいのやり方には共同通信がまとめた世論調査で80%が「支持しない」だった。

だれのための軍備拡大?

●台湾有事のシナリオ
日本が開戦当初から自衛隊を投入すればアメリカ側の勝利。日本が中立を宣言したらアメリカ軍の敗北だそうです。

●バイデン政権にとって台湾有事への対処として日本の軍事力が不可欠。国民の多くは中身を知らない。日本は戦争したら生きられない!

●沖繩、南西諸島のミサイル拠点化、全国に弾薬庫増設。などなど...

著々と戦争準備

●反撃能力(敵基地攻撃能力)の保有、違憲の安保3文書。これまで憲法9条に基づく制約、「海外派兵の禁止」「専守防衛」「集団的自衛権行使の否認」「防衛費のGD

講義を聞いて今迄よくわからなかった仕組みがわかった。やはり、戦争したら終わり。憲法9条活かし積極的平和外交しかない!

周りの人に今日聴いた事実をもっと知らせなければと思いました。

また次回続きを企画したいです。
(平和部 吉田)

新婦人 2023年7月1日(土曜日) 第3468号 「付録」

新日本婦人の会 中央支部
TEL:06-6765-0210 FAX:06-6765-0201
E-mail: sf-chuo@gol.com No. 1841

おやこぼと